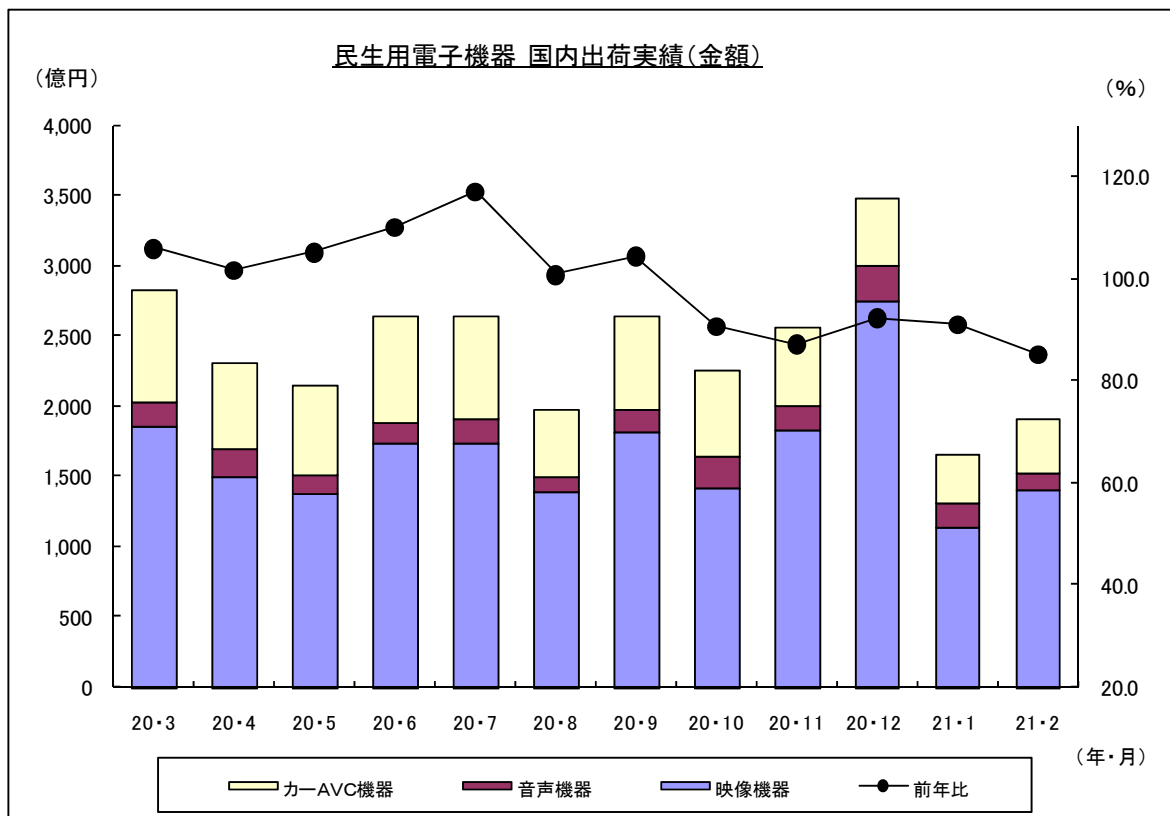


JEITA

全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比 (%)

	20・3	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11	20・12	21・1	21・2
映像機器	1,865 <i>108.9</i>	1,509 <i>101.3</i>	1,385 <i>107.0</i>	1,745 <i>112.2</i>	1,739 <i>119.4</i>	1,401 <i>106.3</i>	1,821 <i>108.2</i>	1,425 <i>91.3</i>	1,834 <i>92.3</i>	2,751 <i>96.7</i>	1,147 <i>107.3</i>	1,405 <i>99.4</i>
音声機器	177 <i>96.4</i>	198 <i>98.2</i>	138 <i>93.8</i>	146 <i>104.6</i>	179 <i>120.4</i>	109 <i>99.5</i>	167 <i>85.8</i>	223 <i>94.1</i>	172 <i>82.1</i>	262 <i>92.3</i>	175 <i>88.6</i>	128 <i>94.7</i>
カーAVC 機器	795 <i>101.7</i>	614 <i>104.2</i>	633 <i>104.4</i>	757 <i>106.6</i>	728 <i>111.3</i>	470 <i>88.0</i>	659 <i>100.4</i>	611 <i>88.7</i>	567 <i>75.7</i>	475 <i>74.1</i>	346 <i>61.4</i>	387 <i>55.3</i>
計	2,837 <i>106.0</i>	2,321 <i>101.7</i>	2,155 <i>105.3</i>	2,648 <i>110.1</i>	2,646 <i>117.1</i>	1,980 <i>100.9</i>	2,647 <i>104.5</i>	2,259 <i>90.8</i>	2,573 <i>87.4</i>	3,488 <i>92.5</i>	1,668 <i>91.1</i>	1,920 <i>85.4</i>

2月の概況

民生用電子機器の2月出荷金額は1,920億円、前年比85.4%と5ヶ月連続のマイナスとなった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,405億円、前年比99.4%とマイナスに転じた。

音声機器国内出荷金額は、128億円、前年比前年比94.7%と7ヶ月連続のマイナスとなった。

カーAVC機器国内出荷金額は、387億円、前年比55.3%と5ヶ月連続のマイナスとなった。

JEITA

- 2月のカラーテレビ全体計(CRT+10型以上液晶+PDP)は813千台、前年比は113.6%となり、2桁伸長を維持した。2月の構成比(台数ベース)は、10型以上液晶が89.3%、PDPが9.9%、CRTは1%を下回り0.8%となった。
 - 10型以上液晶カラーテレビは726千台、前年比は117.4%の2桁伸長を維持した。うち、99%を占める16:9が717千台、同119.8%、37型以上は179千台、同126.5%と好調に推移した。
 - PDPは80千台、前年比115.6%の2桁伸長を維持した。43型以下がPDP全体数量の7割以上を占めている。
-
- 2月のDVDビデオは、209千台、前年比58.0%と、11ヵ月連続の前年割れとなった。その内訳は、DVD録再機が86千台、同46.1%、DVD再生機が123千台、同70.7%となっており、録再機が大きく落ち込んでいる。
 - 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤーは150千台、前年比257.1%と引き続き好調に推移しており、DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で42%を占めている。また、今月も次世代光ディスクレコーダの出荷台数が、DVD録再機の台数を大きく上回り、その差は大きくなってきている。
 - ビデオ一体型カメラは142千台、前年比88.3%と、前年割れとなった。全体の8割を占めるハイビジョン対応機種は堅調であるが、ハイビジョン非対応機種の落ち込みが大きく、それをカバーできなかった。
-
- ステレオセットは38千台、前年比74.8%と23ヶ月連続の前年割れとなった。
 - デジタルオーディオプレーヤーは388千台、前年比106.2%と3ヶ月連続してプラスとなった。うちフラッシュメモリを使用するタイプは全体の94%、366千台であった。
 - HiFiスピーカーシステムは37千台、前年比152.4%と、28ヶ月連続で前年プラス、24ヶ月連続の2桁成長と、依然好調を持続している。
-
- カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、8千台、前年比23.5%、カーCDプレーヤーが235千台、前年比39.6%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCDプレーヤーの合計は244千台、前年比38.7%であった。
 - カーカラーテレビは32千台、前年比30.8%と7ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは8千台、同27.9%と5ヶ月連続の大幅なマイナスになっている。
 - カーナビゲーションシステムは274千台、前年比71.0%と5ヶ月連続のマイナスであった。2月のソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが11.0%、HDDタイプ(その他)が89.0%であった。
 - ETC車載ユニットは447千台、前年比142.0%の大幅なプラスとなった。